



マスクの準備

について

保育園は集団生活の場です。感染症予防の観点からマスクの準備は、各ご家庭でお願いいたします。なお3歳未満の子どもさんに関しては、強制はいたしません。マスクには必ず、名前の記入も忘れずをお願いいたします。(似たようなデザインのものも多くみられます。)鼻水等で汚れた場合のことも考え、予備のマスクの準備もお忘れなく。



朝晩の気温が急激に冷えるようになって来ました。厚手のコートやジャンパー姿が多くみられます。暖房器具を使うこの時期、室内の空気の乾燥が、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症の流行にという話も聞かれます。保育園では、各クラスで加湿器を使い、定期的に喚起を行うこと、職員のマスクの着用と、健康管理の徹底など感染症対策を行っております。ご家庭におかれましては手洗い・うがい、マスクの着用のご協力をお願いいたします。

秋の内科健診終わる

11月17日(火)当園ホールに上原小児科医院 上原充郎先生が来園し、内科健診が行われました。6月の健診のときは、涙を流す子も見られましたが、今回はみんなニコニコ笑顔で先生の診察を受けることができました。町内の乳児健診でお世話になっていることもあり、和やかな雰囲気で行われました。診断結果は、個別に配布したとおりです。



- 1日(火) 2歳6ヶ月児相談
- 4日(金) 3歳6ヶ月児健診
- 11日(金) 乳幼児健康診査
- 18日(金) ことばの相談
- 23日(水) 赤ちゃん相談

詳しくは広報しずくいしで確認のうえお出かけください。

新型コロナウイルス感染症について

11月に入ってから新型コロナウイルス感染症の猛威が強まっています。「新型」という言葉のとおり新しいタイプのウイルスであるがゆえに、情報が錯綜し、正確な情報がなかなか入ってこないのが現状です。特に小児に関する情報は少ないのはいまでもありません。子どもは、感染伝播についてのほとんどが保護者や同居家族からであって、小児を発端とした大規模な集団感染は、国内では報告されていません(日本小児科学会の提言より)。ただし、子どもの患者が発生した場合、保健所の指導のもと、一定期間休園の措置をとる可能性があります。私たち、大人一人ひとりが、手洗い・うがい・マスクの着用をするといった感染症対策をするのが子どもたちを守る最大の手段であることに代わりはありません。安心と安全は、危機感と隣り合わせの時代になっています。万が一、おうちの方の体調が優れず、PCR検査を受けた場合は、速やかに園までご連絡いただきますようご理解とご協力をお願いいたします。

秋冬のスキンケア3か条

秋冬の乾燥した空気は、デリケートな子どもの肌には大敵。放っておくと、かゆかゆ、かさかさになってしまいます。「こまめに、丁寧に」日常的なケアをしてあげてください。

① たっぶり保湿

保湿剤は、お風呂上がりには必ず塗りましょう。肌に湿り気があるうちに使うと、角質層に水分を閉じ込められるので効果的。

② 清潔を保つ

顔に汚れなどが付いていたらきれいにふいて。お風呂ではごしごしこすらず、せっけんを泡立てて優しく洗います。

③ 刺激を少なくする

直接肌にふれる衣類は綿素材がお勧め。ポリエステルなどの合成繊維は静電気を起こしやすいため、皮膚を刺激してかゆみのもとに。

